



DNW-23009 の概要

課題名 : バクテリオファージカクテルの MRSA に対する有効性の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

岩野 英知 (学校法人酪農学園大学獣医学群獣医学類)

ステージ : 標的検証前期

【標的疾患】

MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) 感染症

【創薬標的】

黄色ブドウ球菌 (SA: *Staphylococcus aureus*)

【創薬コンセプト】

バクテリオファージという新しいモダリティによる MRSA 感染症治療薬

【ターゲットプロダクトプロファイル】

多剤耐性 MRSA 感染症患者を対象とする新規モダリティの抗菌薬

【モダリティの設定】

バクテリオファージ

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI により明らかにされている。

- 1) 溶菌効果が強く、ウシ由来 SA の 90%以上 に溶菌活性を持つバクテリオファージ ϕ SA012 を見出し、生体内における感染防御効果をマウス乳腺炎モデルにて検証した。
- 2) ϕ SA012 は、ウシ由来 SA 株の 94%及びヒト由来 MRSA 株の 60%に対して、強い溶菌活性及び当該株の耐性化も起こしにくいことを示した。

【支援ステージにおける目標】

高度多剤耐性 MRSA を含む多くのヒト臨床分離株に対して有効な複数のバクテリオファージの組み合わせ（カクテル）を設計する。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。